

政策会議 議事概要

- 1 日 時 令和2年2月6日(木) 13時30分～14時05分
- 2 場 所 第一会議室
- 3 出席者 市長、両副市長、総務局長、総合政策局長、財政局長、総務局次長、
総合政策部長及び病院事業管理者、所管局次長
- 4 議 題 千葉市立病院再整備基本構想(案)について【方針決定】
(病院局)

[審議事項]

- ・ 千葉市立病院再整備基本構想(案)を別紙のとおり決定する。
- ・ 基本構想(案)に基づいて、幕張新都心若葉住宅地区小学校・公益施設用地内に新病院を整備する。
- ・ 新病院は380～430床程度を見込み、具体的には、基本計画・基本設計において、規模、機能等を決定していく。
- ・ 遅くとも令和7(2025)年度上半期内の開院を目指すこととし、基本計画以降の各段階において、作業の効率化や作業内容の精査を行うことにより、最大限の期間短縮に努める。
- ・ 整備手法について、PFI方式は検討対象から除外する。
- ・ 青葉病院は、新病院の稼働後も、当面は救急体制を維持することとし、新病院の稼働後の状況や周辺医療機関の動向を見ながら、機能再編の検討を行う。

病院局次長、経営企画課事業調整担当課長

～資料に沿って説明～

(質問・意見等)

- 財政局長 収支見込みについては、基本計画を作っていく中で、財政局とすり合わせをしながら収支改善の視点を盛り込み、基本計画に乗せていって欲しい。
- 総合政策局長 今回の基本構想では、病床数を380～430床にピン留めしているが、経営改善の観点から、病床数は制約要因になるか。つまり、病床数をもう少し増減させれば経営改善する、という可能性はあるのか。また、収支を改善させる要因として、病院局として考えているものはあるか。
- 海浜病院長 心臓外科、脳外科、呼吸器、救急の強化を行えば、船橋医療センターのように、入院単価が8万円を越える見込み。さらに、診療報酬制度の改正により、変わる可能性がある。ただ、10年先はなかなか読めない。周りの病院との連携にもよるが、地元の高齢者の受入体制によっては、病床数を拡張せざるを得ない。人口減少に進めば、むしろ縮小もあり得る。これからは激動の10年になると思われるため、400床程度をベースにしておくのが妥当だと考えている。
- 病院局次長 診療機能については、院長が答えた考え方で、収益の増加を図っていきたい。また、

十分広い土地を確保する予定であるため、病床数を増やす必要がある場合に備え、整備の段階から駐車場用地を圧縮できるような設計にしておき、将来的なフレキシブルさを担保しておきたい。

- 市長 小学校と病院を建設した場合、どのくらいの用地が残るか。
- 経営企画課 5.3ヘクタールのうち、一般的な事例では学校は1.5から2.0という話なので、差し引きで3.3ヘクタールを最大で取れると考えている。3.3ヘクタールだと600床くらいの病院を建てられる。現在の海浜病院の面積は、駐車場を全て平置きにしたと想定しても2.8ヘクタールから3.0ヘクタールくらいであるため、全部を使い切るかという微妙なところ。どういう形で市が取得するのかも含め、県と意見交換しているため、これから詰めていきたい。
- 事業調整担当課長
- 病院局次長 若干余る可能性もあるので、その部分をどこに取るのかということを含め、検討の協議をしていく。
- 海浜病院長 病院の職員の大部分は他の地域に駐車しているため、平置きにした場合は3.3ヘクタールでも場合によってはかなり厳しいかもしれない。ただ、平置きの方が自走式よりも初期投資が少ない。土地代の問題もあるが、将来的なことを考えた場合、平置きが良いと思われる。
- 市長 収支の部分は次の基本計画でしっかりと議論することになる。財政局などしっかりと協議してもらいたい。方針決定する。

— 結果 —

決定事項のとおり、方針決定する。

5 照会先

- ・会議の運営等について

総合政策局総合政策部政策調整課

TEL 043(245)5057

- ・議題について

病院局経営企画課

TEL 043(245)5741